

神戸大学医学部附属病院

膠原病リウマチ内科

指導担当医（役職）

上田 洋（助教）

実習概要

概要

膠原病リウマチ内科の主治医団の一員として4週間、入院患者を担当します。各主治医団が担当する患者は2～5名程度です。主治医団の日々の回診に参加し、身体診察、検査結果を確認し、治療方針を検討のうえ、カルテ記載を行い、ICにも参加します。カンファレンスでは担当症例をプレゼンします。

医療面接

担当患者の医療面接を行います。

身体診察

担当患者を診察します。

カルテ記載

毎日、学生カルテに記載を行います。適宜、指導医が記載内容をチェックします。

症例プレゼンテーション

毎週木曜日午前に行われるカンファレンスで担当症例のプレゼンを行います。

その他（特色など）

希望者には関節超音波検査や外来見学実習も検討します。

学会での発表なども個人の希望に応じます。

学生へのメッセージ

膠原病リウマチ内科の入院患者に対して、4週間という期間で診療に携わることによって疾患の理解はもとより、ステロイドをはじめとする免疫抑制剤の使用方法や注意点、治療開始後の経過もよく理解できるようになります。加えてチームの一員として主治医団に加わり日々の診察を行っているとは、発熱や関節痛の鑑別や、電解質異常、肝障害といった医師として一般的に必要な考察を行う場面も多く、非常に勉強になると考えます。